

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		子どもの居場所づくり事業			②事業番号		7618			
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		平成	年度	⑤終了予定年度	年度	○ 設定なし
⑥根拠法令等		法令	条例	規則	要綱	計画等	○ その他	法令等の名称		
⑦実施手法		○ 直営	全部委託	一部委託	補助・負担	その他				
⑧関連予算科目コード		款	9	項	5	目	10	細目	5	
⑨担当部名		⑩担当課名						会計	一般会計	
教育部		生涯学習課								

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 泉南市民		① 市の人口	人
②		②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)	単位
子どもの主体的に学ぶ力をはぐくむことが目的。多人数で相談しながら一つの空間で創造活動の場を提供した。		① 参加者数	人
		②	
		③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
市内在住の子どもの主体的に学ぶ力をはぐくむこと。		① 「楽しかった」と答えた割合	%
		① 計算式	
		② 計算式	
		③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け	
市民に創造する場と機会を提供することで、市民文化を主体的に創造する担い手の育成が見込まれる。		政策(章)	1: すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
		施策大(節)	5: まちの風土や歴史的資産が今に息づくとともに、これらを基盤とした新たな文化が花開くまちをめざします
		施策中	1: 歴史的資産の活用
		施策小	3: 歴史的環境に触れる場と機会の充実

【2】各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①		市の人口	人		61,457	60,795	-	-	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②									
活動指標①		参加者数	人		100	100	100	100	
活動指標②									-
活動指標③									
成果指標①		「楽しかった」と答えた割合	%		70	80	85	90	
成果指標②									-
成果指標③									
事業費	投入人員	正職員	人		0.25	0.16	0.16		
		任期付職員	人		0.00	0.00	0.00		
		臨時職員	人		0.00	0.20	0.20		
		人件費(投入人員*単価)	千円		1,928	1,580	1,580		
事業費		直接事業費	千円		302	22	50		R2年度の事業費の減は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業内容を縮小したため。
		総事業費	千円		2,230	1,602	1,630		
	財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0		
		府支出金	千円		302	23	50		
受益者負担金		千円		0	0	0			
その他特定財源		千円		0	0	0			
	一般財源	千円		1,928	1,579	1,580			

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	歴史的資源の多面的な活用方法を検討する必要があるため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	特定少数でのコミュニティで、地域の歴史文化を「主体的に学ぶ力」を身に着けることができるプログラムの創出が必要。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	特定少数を対象にしたアウトリーチ活動を検討した。

### 3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[1]の評価	B
評価項目	評価及び理由・説明等						
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	現状では市民の一部にニーズがあるのみ。					

[2]有効性		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[2]の評価	B
②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	利用者の満足度は高い。					
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	担当職員のスキルアップ。					
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	青少年センターや文化振興課との連携を進める。					

[3]効率性		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[3]の評価	B
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	高温多湿の夏季(開催スケジュールの予定が立てづらい時期)に実施するのであれば、直営型式が最適の実施方法であるが、プログラム内容を再検討することでコスト削減は可能。					

### 4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少くあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	より効果的なプログラム内容の検討が必要。	

### 5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性> 	
<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入)    b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる)        d. 簡素化する(規模を縮小する)    e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	担当する職員を減らしつつ、事業内容のボリュームアップをはかる。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	担当職員のスキルアップ。